消費税10%へのアップと社会保障の切り捨て中止を求める請願

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

2012年　　月　　日

【請願趣旨】

国民のくらしと営業は、長引く不況と円高に加え、東日本大震災、福島原発事故のもと、かつてない深刻な状況にあります。こうしたなか、民主党政権は、「社会保障と税の一体改革」と称して、社会保障の連続改悪をすすめながら消費税の税率をいまの2倍の10%にしようとしています。これは、過去に類のない最悪の「消費税増税と社会保障の一体改悪」に他なりません。

消費税率を10%にすれば、家計や個人消費が冷え込み、いっそう景気が悪化することは明らかです。社会保障改悪では、年金支給額の切り下げや支給開始年齢の引き上げ、定率の医療費窓口負担にくわえた新たな定額の負担増などが計画されており、国民のいのちと健康を根底から脅かします。

社会保障の財源は、「聖域」をもうけず歳出のムダを削減すること、負担能力に応じた税・社会保険料で賄うという応能負担の原則をつらぬいて確保すべきです。

以上の趣旨にそって、私たちは次のことを強く求めます。

【請願事項】

1　68歳や70歳への年金支給開始年齢の引き上げや、医療費の窓口負担増など、社会保障の切り捨てをやめること
2　消費税の大増税計画を中止すること

氏　名	住　所

日本共産党（　　支部）

署名にご協力下さい

【お願い】お手数ですが、この署名はお近くの日本共産党事務所やお知り合いの日本共産党員にお届けいただくか、日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所へファクス（06-6764-9115）いただければ幸いです。

暮らし経済に大打撃

消費税大増税 阻止へ全力

14年4月8% ➡ **15年10月10%**

政府は、消費税率を10%に引き上げることを柱にした「社会保障・税の一体改革」素案を決定しました。前回総選挙で「4年間は消費税を上げない」と公約した民主党。増税法案を出す資格さえありません。

■増税に大義なし「3つの大問題」

今回の消費税増税は、①ムダづかいを続けながらの大増税②社会保障切り捨てと一体③日本経済をどん底にする、という「3つの大問題」があります。消費税10%で13兆円の増税。こんなに景気が悪く、大震災で苦しんでいるのに負担増をかぶせたら暮らしも経済も底が抜けてしまいます。大増税に大義なし。日本共産党は阻止へ全力をあげます。

日本共産党

公約破りの暴走は許さない

衆院比例近畿ブロック予定候補

こくた恵二
党国対委員長

宮本岳志
衆院議員1期

清水忠史
党大阪府副委員長

堀内照文
党兵庫県副委員長

近畿民報
発行／日本共産党国会議員団 近畿ブロック事務所
2012年1月号外

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目15番7号USビル2F
Tel.06(6764)9111 Fax.06(6764)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。